

## 電機労働者懇談会

発行者ELIC編集委員会谷口利男  
105-0004 東京都港区新橋4-24-3  
Tel/Fax (03) 6450-1777 エムエフ新橋601  
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

Electric Labor and Industry Correspondence

# ELIC

2014年12月10日

No 324

1部100円

# 日立関連のリストラ反撃集会

## 日立の「解雇・労働者いじめ」を許すな！

11月24日（月）午後、日立関連労働者懇談会は電機・情報ユニオンと共催して「日立関連のリストラ反撃集会」を南部労政会館で開催し、7団体11企業連から73人が出席されました。

主催者挨拶で電機・情報ユニオン米田徳治委員長は、電機リストラは25万人を超え止まることなく続き、とりわけ日立関連の労働者からの相談が多く寄せられ、団交を含む闘いのなかで前進が切り開かれていると強調しました。日立懇の窪幸男代表は、日立の職場を変える取り組みを強めなければならぬと訴えました。

連帯挨拶は、全労連から井上久事務局長からメッセージが届き紹介されました。東京地評からは森田稔議長、神奈川労連からは住谷和典事務局長、電機懇からは今井節生代表に行って頂きました。

（全労連の岩橋組織局長、東京地評の菊池組織局長、東京労連の寺下事務局長にもご出席をして頂きましたので、紙面で紹介します）

取り組みの経過報告は、日立懇の馬場豊彦事務局長が行いました。

講演は藤田実教授（桜美林大学）に「日立製作所の事業構造改革とリストラ」と題して豊富な資料と分析で60分間に渡って行われ、財界が解雇の金銭解決制度や限定社員制度による「解雇の自由」を求めており、さらに常時リストラを日立全体に一般化していると指摘され、短時間の質疑では3人から行なわれました。

日立関連会社で闘っている仲間達の報告では、団交内容などを含めて「日立超L」「日立LG」



「日立戸塚」で具体的な内容で日立のひどさが告発されました。現職からも日立関連職場の労務政策や労働者無視の実態報告、ルネサスエレクトロニクスの現職から現在行われている「早期退職強要面談」の人権無視実態を告発しました。

闘争資金の訴えは、電機・情報ユニオン森英一書記長が行い、多額のカンパが寄せられました。

閉会挨拶は、日立懇の原田副代表が、日立での闘いが電機全体と日本の労働者を励ませる様にして闘いたいと決意を述べ、がんばろう三唱で終了しました。

### 今月号の紙面

- ①日立関連のリストラ反撃集会
- ②ルネサスの一時金で最大格差
- ③日立化成の退職強要はひどい
- ④福島岩通の再雇用報告会開催
- ⑤日立懇総会でリストラに反撃！  
電機は4-9決算で大幅増益
- ⑥私の自慢「子育てマイホーム」高橋さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧11・24日立関連リストラ反撃集会  
12・3争議支援総行動、集積回路